

平成 31 年 4 月 1 日
ハイデルベルグ・ジャパン株式会社
ライフサイクルオペレーションズ本部

カスタマーケアセンター
災害対応ダイヤル
電話番号 0570-666-431
IP 電話対応 03-5715-7248
ファックス番号 03-5715-7190
メールアドレス shi.svsupport@heidelberg.com

地震発生時における製品の取り扱いについて パッケージ機

地震、水害をはじめとする自然災害、ならびに事後の計画停電においては、人的、資産的な被害や、事業の中断など、様々な事態が生じるおそれがあります。
ご利用中のハイデルベルグ製品の被害、または製品に起因する被害を最小限に留めるため、下記内容のご対応をいただけますよう、よろしくお願いいたします。
なお、本書面の記載事項は、災害の事前対策ならびに発生時対応の参考としていただくものであり、復旧を保証するものではありません。

1: 災害前の備え

1. 落下物を点検し、各ステーション(フィーダーステーション、フィードボード、カッティングステーション、ストリップングステーション、ブランキング/デリバリステーション)と作業ステップに異常が無いかご確認下さい。
※ グリッパーバーの走行に支障が無いかを点検してください。特に、カッティングステーション内に異物が混入していない事を確認してください。
2. カッティングステーション底部の本機高さ調整用スチールプレートがズレていないか、本機が正しくスチールプレートに載っているかを確認してください。
3. フィーダーステーション、デリバリステーション等の底部脚周りがアンカーボルトで固定されている場合は、アンカーボルトが破損していないか、機械は正しく固定されているかを確認してください。
4. 予備積み装置のレールやコンベア装置の位置がズレていないかを確認してください。
5. エアホースやオイルホース等に損傷がないかを確認してください。
6. 本稼働時に異常があるかを確認してください。

2: 災害直後の対応

工場内設備の確認

- ・ 集中高圧エア供給確認 ⇒ お客様側の集中コンプレッサー使用の場合、圧力不足エラーの起因となります。
- ・ 集塵装置やコンベアなどの周辺機器の確認 ⇒ 接続にズレが生じていた場合、機械の動きに支障を来す恐れがあります。

2-1: 通電時の確認作業

- ・ 工場内元ブレーカーを切って、機械電気配電盤をあげ、ヒューズが切れていないか点検してください。
- ・ 機械に落下物がないか点検してください(特にグリッパーバー走行部、カットングステーション、ストリッピングステーション、ブランキング／デリバリステーションのツール、ノンストップ機構、前当て(ダイセットなど)付近を確認してください)。
- ・ フィーダー／デリバリステーションのパイルテーブルが下限にある場合、機械のズレやコンベア装置等のズレによって接触していないかを点検してください。

2-2: 通電後の確認作業

- ・ 機械電気配電盤を閉め、工場内元ブレーカーを入れ、機械のメインスイッチを入れます。
- ・ 操作画面にてエラーが表示されていないか確認してください。
- ・ 高圧エアが供給されている事を確認し、ホースの付け根などから空気の漏れがないか確認してください。
- ・ 機械付属の手廻しハンドル(スパナ)を準備します。緊急非難の為に生産途中で緊急停止スイッチにより機械を停止させ、生産紙が機械内に残っている場合、機械の停止角度によってはカットングステーション内で刃が生産紙に入ったまま、またはストリッピング／ブランキングステーションにてツールが生産紙に接触したままになっている場合、手回し動作が重くなる可能性があります。
- ・ ストリッピング／ブランキングステーションのアップパー(上部)ツールフレームを、ボタン操作で上昇させ、機械の回転によってツールフレームが作動しないようにしてください。
- ・ 本機内に異物が無いかを十分にご確認いただき、1名又は2名で手回し及び手動クラッチのオン／オフ、数名で本機を目視点検しながら、ゆっくりと正転方向に機械を回してください。重くて動かないなど、異常が見られた際には手回しを止め、手動クラッチをオフにして、再度、本機内に異常がないかご確認ください。(逆転させると、グリッパーバーやその他の機構が破損する恐れがありますので、絶対に逆転しないで下さい！)
- ・ フィーダー／デリバリステーションのパイルテーブルを上昇／下降させて異常が無いか確認してください。パレットを置かない状態で、パイルテーブルを上限下限までゆっくり稼働させ、ご確認ください。下限まで下降できない場合、フィーダー／デリバリステーションを支える両サイドの柱が歪んでいる可能性があります。柱を床に止めているアンカーボルトを緩める(取り外す)ことにより、下降が可能になる場合があります。(応急的にアンカーボルトを外した状態でも機械の稼働は可能ですが、デリバリステーションはコンベアピットの端に設置されている為、本機据え付け状況が不安定である場合は、**稼働をお控えいただき、速やかに弊社カスタマーケアセンターへご連絡ください。**)
- ・ 寸動にて少しずつ回転させ、正常に稼働可能か点検してください。
 - 回転中にグリッパーバーやモーター付近から異音がある場合は、速やかに停止してください。停止後、異音発生箇所にも異物や変形などが無いかを点検してください。
 - 電源を入れて寸動回転させて異音が無いか確認した後、異常が無ければ速度を最低速にして連続運転させ、少しずつ回転を上げてください。

《電源投入後にエラーが出た場合、以下の可能性があります》

- ・ **デリバリステーション ライトバリア検知エラー**
センサーにはレーザー発光側と受光側があり、その対面する角度が正しくない可能性があります。また、両方のセンサー表面を綺麗な布で清掃願います。光線の位置がズれている場合は、デリバリステーション正面二本の足最下部のアンカーボルトを緩め、発光側センサーが取り付けられている脚を可能であればゆすってください。光線が合った位置でアンカーボルトを締めます（地震の影響で歪む可能性があります）。
- ・ **整合性エラー**
エラー箇所を画面で確認し安全装置を動作させてください。（カバー開閉、ライトバリアセンサー遮断動作など）

3: 計画停電

災害発生時には、電力会社により大規模な停電が計画・実施される可能性があります。

計画停電の対象地域に該当されるお客様は、以下のようにご対処いただくことにより、トラブルを最小限に回避できます。お手数ではございますが、下記に従って作業していただきますよう、よろしくお願いいたします。

- ・ 停電の予定時間前に機械を停止し、電源をお切りください。
- ・ 印刷機などは、電源を切る前に早めにインキやブランケットの洗浄を行ってください。
- ・ 機械の稼働中に停電になってしまった場合は、まず機械の主電源をお切りください。その後、元ブレーカーを切り、電気配電盤を開けヒューズが切れていないかをご確認ください。
- ・ 停電終了後に電源を入れてエラーが発生した場合、エラーの内容をご確認後、弊社カスタマーケアセンターまでご連絡をお願いいたします。